

# JR向日町駅 東口再開発

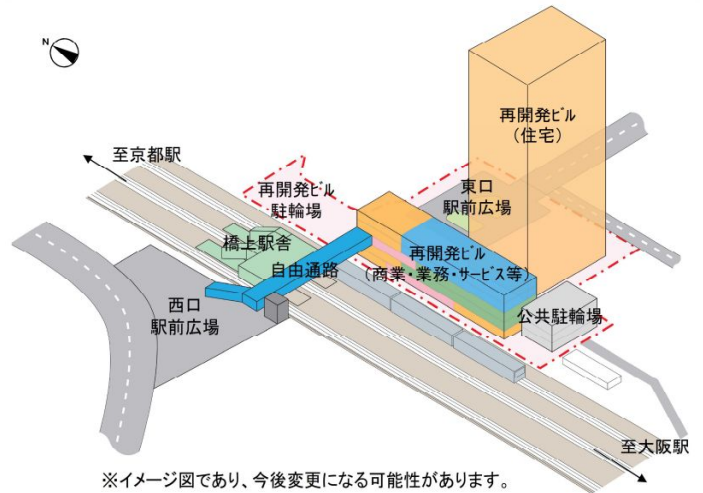
# 128mタワーマンと5階駅ビル 向日市の負担は32億円

- JR向日町駅東口の駅ビル・タワーマンション・東口駅前広場を整備する市街地再開発事業の内容が明らかになりました。事業計画書によると、
- ①タワーマンションは36階建て・最高部128m・330戸。
  - ②駅ビルは5階建て。店舗・業務施設の他2、3階は診療所や保育所等を検討。
  - ③2026年度東口開設、2028年度まち開きを予定。

東口のタワーマンションについては、歓迎する意見もある一方で、懸念の声も多く寄せられています。もともと市民が望んで計画されたものではなく、駅東口の開設を市民負担を抑えて実現するため、駅ビル事業から駅舎・自由通路の事業費を負担して頂く構想が提案され、検討されてきたものです。しかしそうならないようです。逆に駅ビル事業に多額の公費が投入されています。

この総事業費は186.9億円。42億円の補助金が含まれます。完成した建築物の大半をJR系のデベロッパー（開発事業者）が131億円を取得し、販売・運用するようです。多額の公費を投入する事業にふさわしい内容であるかチェックしてゆく必要があります。

橋上駅舎と自由通路は、事業費のうちJR負担3億円を除く42億円を国と向日市が折半で負担となっています。



※イメージ図であり、今後変更になる可能性があります。

## 全体の総事業費の内訳

(単位: 億円)

項目	事業費	うち市負担額
駅ビル・タワーマンション・駅前広場	186.90	
補助金	42.06	9.64
橋上駅舎・自由通路	45.41	
行政負担(約93%)	42.32	21.16
JR負担(約7%)	3.09	
その他関連事業	3.00	1.50
総事業費	235.31	32.30

※総事業費の内、国・府・市の負担: 87.38億円(37.1%)

## 今後の予定

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
市街地再開発事業	基本設計 事業認可	実施設計	除却 移転補償	文化財 調査		建築工事	駅前広場工事		清算
自由通路事業	協定締結	実施設計	除却 移転補償		建築工事		清算	まち開き	

東口開設

## 12月向日市議会報告

### 補正予算で決まった主なもの

- 各公共施設へのWi-Fi整備
- スポットクーラーの追加整備
- 小中学校の児童生徒机の抗菌化
- 子育て世帯への臨時特別給付金

対象となる児童1人に10万円が一括給付されます。高校生相当の年齢の方の保護者と、公務員は申請が必要。1月下旬までに案内送付されます。

### 請願

- 障がい児の保育に関する請願 (採択)
- 私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願(採択)
- 向日市を「子育ての町」にするために保育所のよりよい環境づくりを求める請願 (不採択)

### 意見書

- 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書 (採択)
- 介護施設の人員配置基準の引き上げを求める意見書 (採択)

※杉谷議員は請願・意見書すべてに賛成しました。